





消火設備	○ 配管材料	イ) 一般 既設 ○ 配管用炭素鋼管(白) 改設 ○ 配管用炭素鋼管(白)	○ 圧力用配管用炭素鋼管(Sch40) ○ 圧力用配管用炭素鋼管(Sch40)
	○ 屋内消火栓種別	ロ) 地中埋設部 既設 ○ 外面被膜鋼管(SGP-VS) 改設 ○ 外面被膜鋼管(SGP-VS)	○ 外面被膜鋼管(STPG-370VS) ○ 外面被膜鋼管(STPG-370VS)
○ 屋内用消火栓開閉弁	既設 ○ 易操作性1号消火栓 改設 ○ 易操作性1号消火栓	○ 2号消火栓 ○ 2号消火栓	○ 広範囲型2号消火栓
○ 保温	イ) 10K 既設 ○ 有リ 改設 ○ 要	○ 無シ ○ 要	○ 不要
○ 消火配管の保温	既設 ○ 有リ 改設 ○ 要	○ 無シ ○ 要	○ 不要
	スプリンクラー	既設 ○ 有リ 改設 ○ 要	○ 無シ ○ 不要
	ハ) 屋外露出管については給水管に準ずる。		

ガス設備	○ 配管材料	イ) 一般 既設 ○ 配管用炭素鋼管(白) 改設 ○ 配管用炭素鋼管(白)	○ ガス事業者の規定による ○ ガス事業者の規定による
	○ 親メーター	ロ) 地中埋設部 既設 ○ 配管用炭素鋼管(白) 改設 ○ ガス用ポリエチレン管	○ ガス事業者の規定による ○ ガス事業者の規定による
○ ゼメーター	○ 実測式 ○ ハルス式 ○ 貸与品		
○ ガスボンベ	○ 実測式 ○ ハルス式 ○ 買取り		
○ ハルスタンク	貸与品 (○ 50kg □□ 本)		
○ ガス漏れ警報器	イ) 集合装置 ○ 標準図施工72 ロ) 転倒防止等 ○ 標準図施工73 (○ (a) ○ (b))		
○ 埋設深さ	○ 有リ ○ 無シ ○ 本工事(図示の場所に取付ける)(○ 分離形 ○ 一体形) ○ 別工事		
	外部出力端子 (○ 有リ ○ 無シ)		
	イ) 一般敷地内 (□□□ m以上)		
	ロ) 敷地内車庫道路 (□□□ m以上)		

厨房機器設備	○ 熱調理機の熱源	既設 ○ ガス ○ 電気 改設 ○ ガス ○ 電気	
	○ 厨房機器類	イ) 仕様・性能等は図示による。機器の寸法は概略寸法とする。 ロ) 厨房機器取付け価格は、標準図施工74による。	

雨水利用設備	○ システム構成その他	別図による。	
	○ 配管材料	イ) 一般配管 既設 ○ 改設 ○ ロ) 集水管 既設 ○ 改設 ○	
○ 量水器	○ 直結式 ○ ハルス式		
○ 弁類	○ 図面に特記なき場合は、JIS又はJVGKとする。		

浄化槽設備	○ 処理能力	対象人員 □□ 人 BOD濃度 □□ mg/L BOD除去率 □□ %以上	
	○ 流入負荷	汚水量 □□ m3/日 BOD濃度 □□ mg/L	
○ 処理方式	○ 小規模合併処理(告示区分第1の処理方式) ○ 合併処理(告示区分第2、第3、第6の処理方式)		
○ 主要構造	○ ユニット形(FRP製) ○ 現場施工形		
○ 総電気容量	設置スペース 約 □□ x □□ W		
○ ばっ気槽用送風機	○ □□ 相 x □□ V x □□ kW		
○ 流入側	イ) 屋外に設置する送風機はカバー付とし、コンクリート基礎の上に固定する。 ロ) 送風機にはケーブル(ビニルキャブタイヤケーブル)を約 □□ m 付属する。 ハ) 送風機を2基設置する場合タイマーによる自動互運転とする。		
○ 放流側	イ) 流入管径 設計GL- □□ m ロ) 浄化槽本体の流入方式(必要な場合はポンプアップ方式とする) イ) 浄化槽本体よりの自然放流可能管径 設計GL- □□ m ロ) 浄化槽本体よりの放流方式(必要な場合はポンプアップ方式とする)		
○ 排気管及び排気かさ	構造上不要な場合は設けない。		
○ ポンプ	流入用並びに放流用ポンプは各々2台設置し、自動交互常時同時運転とする。		
○ 制御盤	○ 製造者標準品 ○ 標準仕様書による (○ 漏電、過負荷、満水警報等の一括改定表示用無電圧接点及び端子を設ける。)		
○ マンホール	○ 製造者標準品安全荷重 (○ 5 ○ 15 ○ 50 kN以上とする。) ○ 標準図(機材1) (○ MNB ○ MNA ○ MND)		
○ 装置耐荷重	耐荷重はマンホール安全荷重による。		
○ 土工事	イ) 基礎杭 ○ 要(○ 本工事 ○ 別途) ○ 不要 ロ) 基礎コンクリート ○ 要(○ 本工事 ○ 別途) ○ 不要 ハ) 根切り ○ 本工事 ○ 別途 ニ) 埋戻し ○ 本工事 ○ 別途 ホ) 躯体(現地施工の場合) ○ 本工事 ○ 別途 ヘ) 山止め ○ 要(○ 本工事 ○ 別途) ○ 不要 ト) 水替え(自然水位GL-m) ○ 要(○ 本工事 ○ 別途) ○ 不要 チ) 残土処分 ○ 構外搬出 ○ 敷き均し		
○ 消毒剤	30日分を納入する。		
○ 水質表示等の提出	一定期間定常状態で使用後、放流水質等を記入した測定表を提出する。		
○ フローシート	合成樹脂製パネル(厚さ5mm以上、文字は彫り込み)を取付ける。		
○ 消泡装置	ノズル式又は消泡剤式とする。		

発生材処理	○ 発生材の処理等	○ (□□の部) 特記仕様書による ○ 特定建設資材の分別解体等及び再資源化等 本工事は、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適切な措置を講ずることとする。工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件より難しい場合、監督職員と協議するものとする。また、分別解体・再資源化の完了時に再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び所在地、再資源化等に要した費用を書面にて監督職員に報告する。																																																													
		○ 分別解体等の方法																																																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工程</th> <th rowspan="2">作業内容</th> <th colspan="2">分別解体等の方法</th> </tr> <tr> <th>手作業</th> <th>手作業、機械作業併用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">○ 解体工事</td> <td>○ 建築設備の取外し</td> <td>○</td> <td>○ (理由: )</td> </tr> <tr> <td>○ 内装材等の取外し</td> <td>○</td> <td>○ (理由: )</td> </tr> <tr> <td>○ 屋根ふき材の取外し</td> <td>○</td> <td>○ (理由: )</td> </tr> <tr> <td>○ 外装材の取壊し</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ 上部構造部分の取壊し</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ 基礎の取壊し</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ 基礎ぐいの取壊し</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ その他( )</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ 増築工事</td> <td>○ 造成等の工事</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ 修繕</td> <td>○ 基礎の工事</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">○ 模様替</td> <td>○ 基礎ぐいの工事</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ 上部構造部分の工事</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ 外装の工事</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ 屋根の工事</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ 建築設備工事</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ 内装等の工事</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ その他( 外構等 )</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	工程	作業内容	分別解体等の方法		手作業	手作業、機械作業併用	○ 解体工事	○ 建築設備の取外し	○	○ (理由: )	○ 内装材等の取外し	○	○ (理由: )	○ 屋根ふき材の取外し	○	○ (理由: )	○ 外装材の取壊し	○	○	○ 上部構造部分の取壊し	○	○	○ 基礎の取壊し	○	○	○ 基礎ぐいの取壊し	○	○	○ その他( )	○	○	○ 増築工事	○ 造成等の工事	○	○	○ 修繕	○ 基礎の工事	○	○	○ 模様替	○ 基礎ぐいの工事	○	○	○ 上部構造部分の工事	○	○	○ 外装の工事	○	○	○ 屋根の工事	○	○	○ 建築設備工事	○	○	○ 内装等の工事	○	○	○ その他( 外構等 )	○	○
工程	作業内容	分別解体等の方法																																																													
		手作業	手作業、機械作業併用																																																												
○ 解体工事	○ 建築設備の取外し	○	○ (理由: )																																																												
	○ 内装材等の取外し	○	○ (理由: )																																																												
	○ 屋根ふき材の取外し	○	○ (理由: )																																																												
	○ 外装材の取壊し	○	○																																																												
	○ 上部構造部分の取壊し	○	○																																																												
	○ 基礎の取壊し	○	○																																																												
	○ 基礎ぐいの取壊し	○	○																																																												
	○ その他( )	○	○																																																												
	○ 増築工事	○ 造成等の工事	○	○																																																											
	○ 修繕	○ 基礎の工事	○	○																																																											
○ 模様替	○ 基礎ぐいの工事	○	○																																																												
	○ 上部構造部分の工事	○	○																																																												
	○ 外装の工事	○	○																																																												
	○ 屋根の工事	○	○																																																												
	○ 建築設備工事	○	○																																																												
	○ 内装等の工事	○	○																																																												
	○ その他( 外構等 )	○	○																																																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">特定建設資材廃棄物の発生材の処理</th> <th rowspan="2">施設の名称・住所・運搬距離[km] 等</th> </tr> <tr> <th>特定建設資材廃棄物の種類</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ コンクリート</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ コンクリート及び鉄から成る建設資材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 木材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ アスファルト・コンクリート</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	特定建設資材廃棄物の発生材の処理		施設の名称・住所・運搬距離[km] 等	特定建設資材廃棄物の種類		○ コンクリート			○ コンクリート及び鉄から成る建設資材			○ 木材			○ アスファルト・コンクリート																																														
特定建設資材廃棄物の発生材の処理		施設の名称・住所・運搬距離[km] 等																																																													
特定建設資材廃棄物の種類																																																															
○ コンクリート																																																															
○ コンクリート及び鉄から成る建設資材																																																															
○ 木材																																																															
○ アスファルト・コンクリート																																																															

発生材処理

施工要領

工事内容

○ 特定建設資材廃棄物以外の発生材の処理等	○ 発注者に引渡しを要するもの (○ 金属類 ○ 機器類 ○ ) ○ 特別管理産業廃棄物 (○ PCB使用機器 ○ ) ○ 特別管理産業廃棄物の処理方法 PCB使用機器は関係法令に従い適切に処理する。 ○ 下記のアスベスト含有製品は関係法令に従い適切に処理を行う。 ○ 発熱部の離隔(断熱処理の工法: アスベスト) ○ 耐火被膜板及び密封材(BJ)性能評定工法: アスベスト ○ 難燃用パッキン及び断熱材(自家発電装置排気管伸縮継手: 石綿ロープ)
○ 現場において再利用を図るもの ( )	○ 再資源化を図るもの (○ ○ )
○ 上記以外の発生材は、可能な限り中間処理施設等において再利用・減量化を図るものとし、処理方法等は監督職員と協議する。	○ 再利用、減量化等を含めた発生材の搬出処理費は別途とする。

○ 特定建設資材廃棄物以外の発生材の処理			
種類	再資源化	施設の名称・住所・運搬距離[km] 等	
	○ する ○ しない		
	○ する ○ しない		
	○ する ○ しない		

○ 建築工事の部	特定建設資材廃棄物以外の発生材の処理等
○ 発注者に引き渡しを要するもの (○ 金属類 ○ PCB含有物 ○ )	
○ 特別管理産業廃棄物 (○ 炭石綿 ○ PCB含有物 ○ )	
	( 運搬距離[km]: )

○ PCB含有シーリング材の処理	○ 第一次判定 ○ 第二次判定 ○ 除去処理工事
1) 工事範囲	○ 現場においてサンプルを採取し、日本シーリング工業会で分析を行うこと。 サンプル採取部位 ○ 外部目地 ○ 外部建具周囲目地 ○ 図示 サンプル採取数 ○ 部位毎に各1箇所 ○ 図示
2) 第一次判定	○ 現場においてサンプルを採取し、専門試験期間で分析を行うこと。 サンプル採取部位 ○ 外部目地 ○ 外部建具周囲目地 ○ 図示 サンプル採取数 ○ 部位毎に各1箇所 ○ 図示
3) 第二次判定	○ 除去処理範囲 ○ 外壁面及び外部建具周囲 ○ 図示
4) 除去処理工事	○ 上記以外の発生材は、可能な限り中間処理施設等において再利用・減量化を図るものとし、処理方法等は監督職員と協議する。 ○ 現場において再利用を図るもの ( )

○ 電気設備工事の部	特定建設資材廃棄物以外の発生材の処理等
○ 発注者に引き渡しを要するもの (○ 金属類 ○ 壁類 ○ 電線・ケーブル類 )	
○ 特別管理産業廃棄物 (○ ○ ○ )	
	( 運搬距離[km]: )
○ 上記以外の発生材は、可能な限り中間処理施設等において再利用・減量化を図るものとし、処理方法等は監督職員と協議する。	○ 再利用、減量化を含めた搬出処理費は今回工事範囲外とする。 ○ 現場において再利用を図るもの ( )

○ アスベスト含有製品処理等	○ 本工事
	ダクトフランジパッキン及び配管エルボ部保温材の処理方法は、以下による。 撤去する長方形ダクトのフランジ部、配管のエルボ・チーズ部に含まれる石綿を処分するためフランジ・エルボ・チーズの前後を切断し、他のダクト・配管とは別に廃棄を行う。 ※ 配管、ダクト以外の解体方法は、関連する官公署、石綿作業主任者などに確認し法令に従い適切に処理を行うこと。

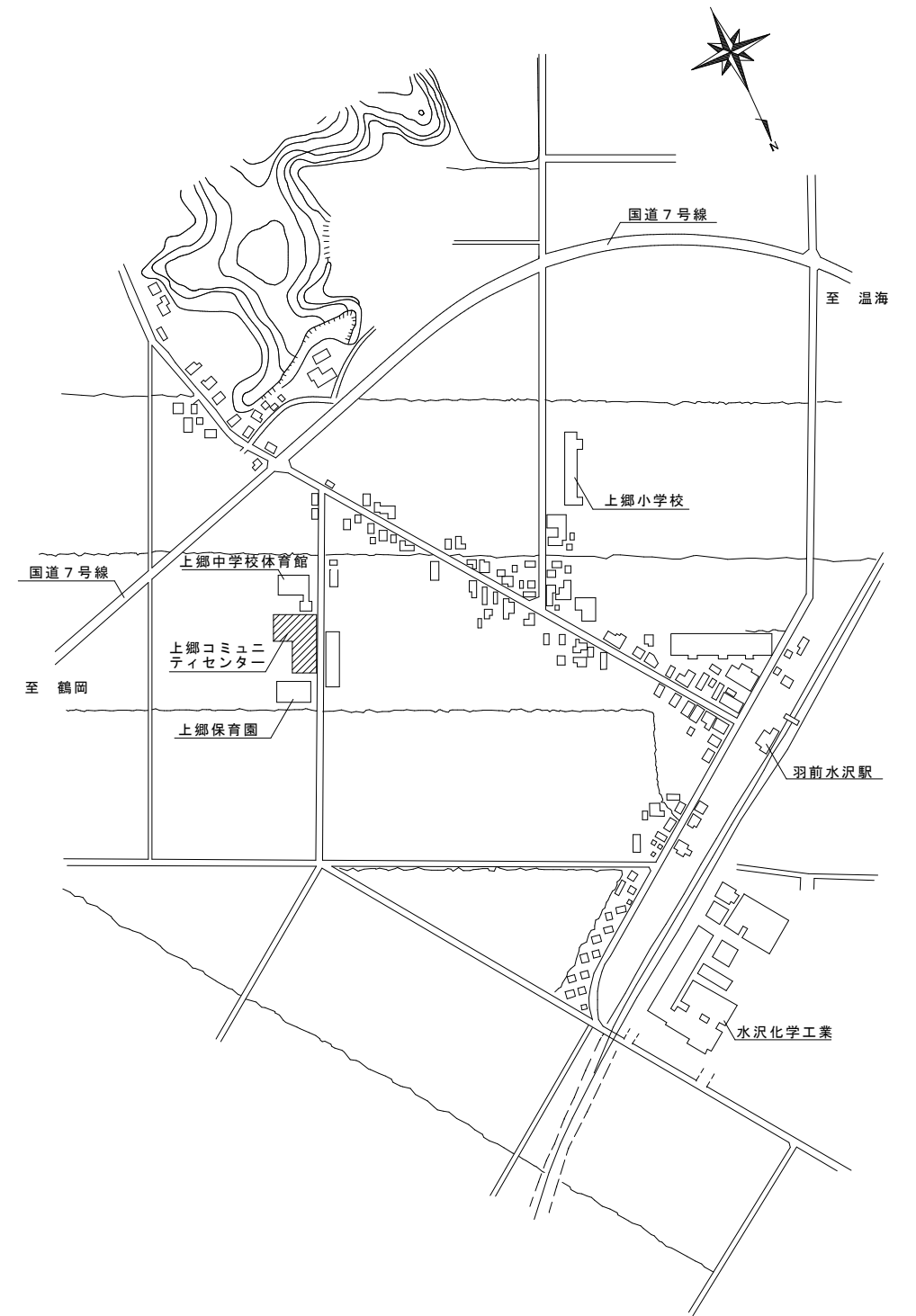
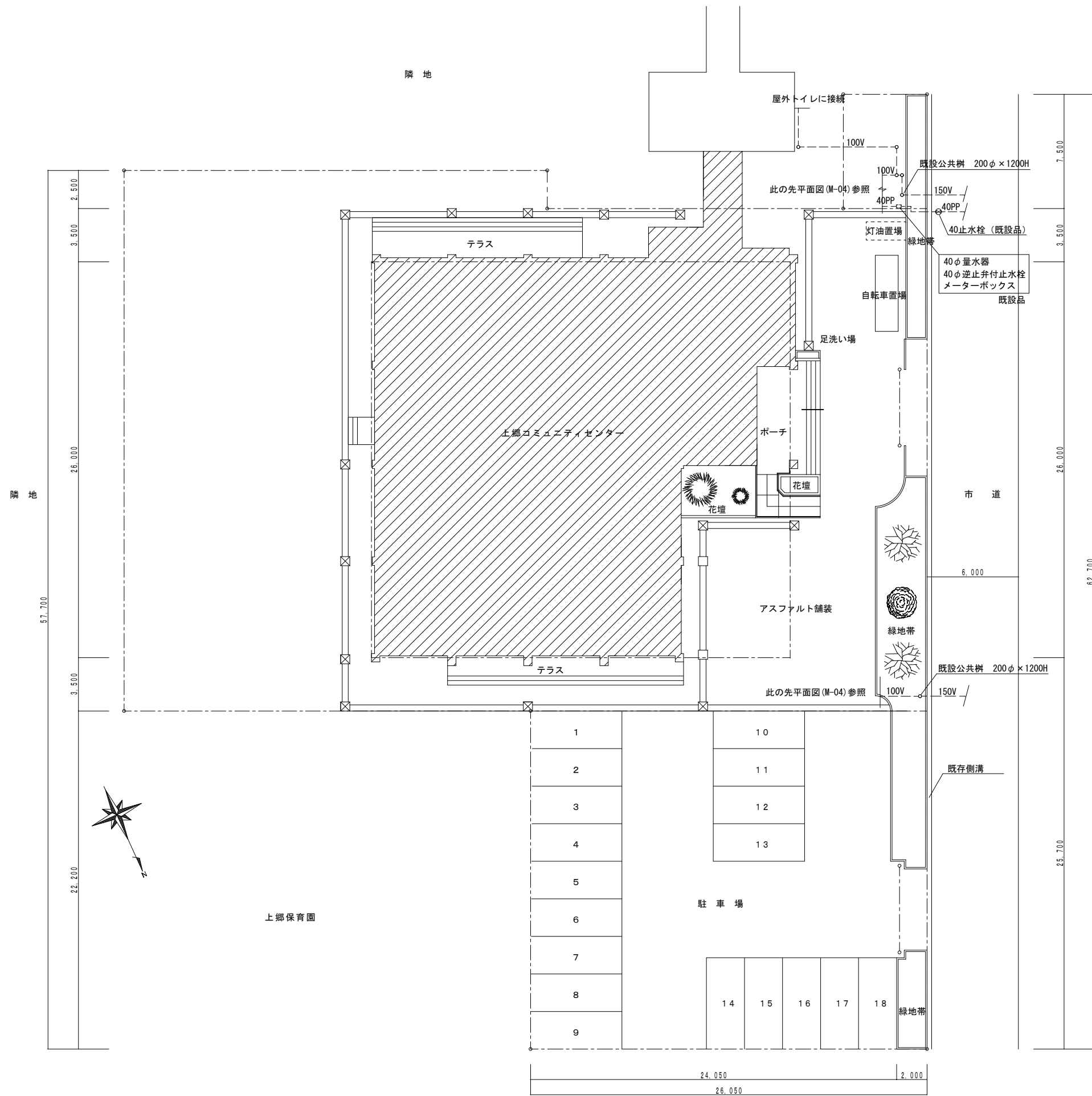
アスベスト含有部材を撤去・取外しを実施する場合の施工要領(参考)

**ダクトフランジ部撤去詳細図**

- ダクトの切断に当たり飛散防止処置として、フランジ部を飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行う。
- フランジ部両側約100mmの箇所において慎重に切断する。
- ダクト片側の切断終了後、フランジ部内部を外面同様、飛散防止処置として飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行い、もう片側の切断を行う。
- 切断したフランジ付ダクトは、ビニル袋等に詰め、構外搬出適切処理とする。

**配管エルボ・チーズ部撤去詳細図**

- 配管の切断に当たり飛散防止処置として、保温材部を飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行う。
- 保温材部両側約100mmの箇所において慎重に切断する。
- 切断した保温付配管は、ビニル袋等に詰め、構外搬出適切処理とする。



【付近見取図】

HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社  
 管理建築士 1級建築士登録第185805号 野尻里志  
 1級建築士事務所 山形県知事登録(1903)第425号 山形県鶴岡市日和町15-19  
 補償コンサルタント 建設大臣登録 補18第4531号  
 TEL(代表) 0235(23)8844/FAX0235(23)8867

検  
 用  
 当  
 製  
 図

保  
 管  
 承  
 認  
 竣  
 工  
 図  
 製  
 成

訂  
 正

特  
 記

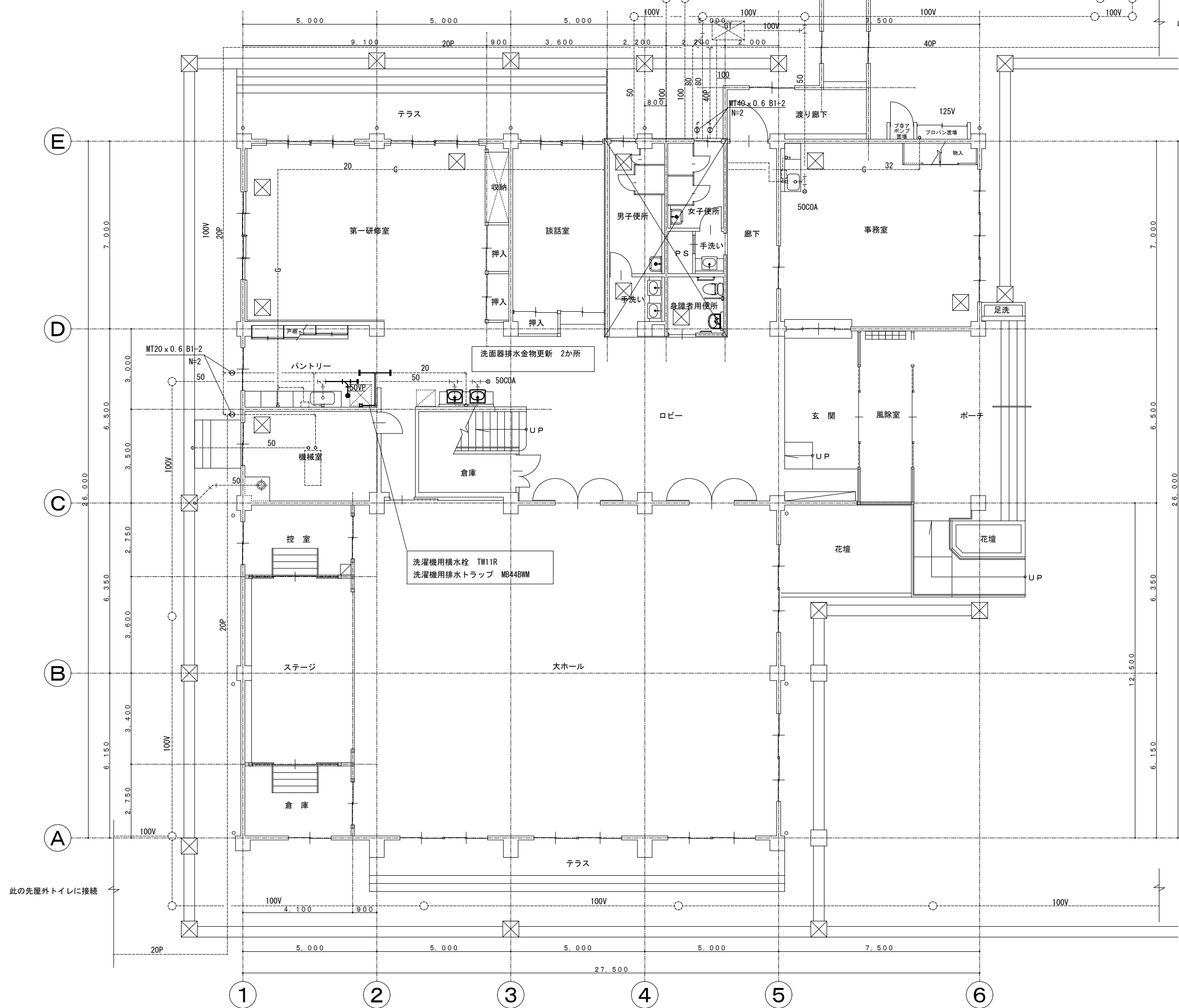
上郷コミュニティセンター  
 改修工事

図  
 面  
 内  
 容  
 縮  
 尺

衛生設備配置図・付近見取図  
 1:200 1:2500

図  
 面  
 番  
 号  
 区  
 分

M-03



床下点検口 600×600

HARADA ARCHITECTURE GROUP株式会社  
 管理建築士 1級建築士登録第185805号 野尻里志  
 1級建築士事務所 山形県知事登録(1903)第425号 山形県鶴岡市日和田町15-19  
 補償コンサルタント 建設大臣登録 補18第4531号  
 TEL(代表) 0235(23)8844 / FAX 0235(23)8867

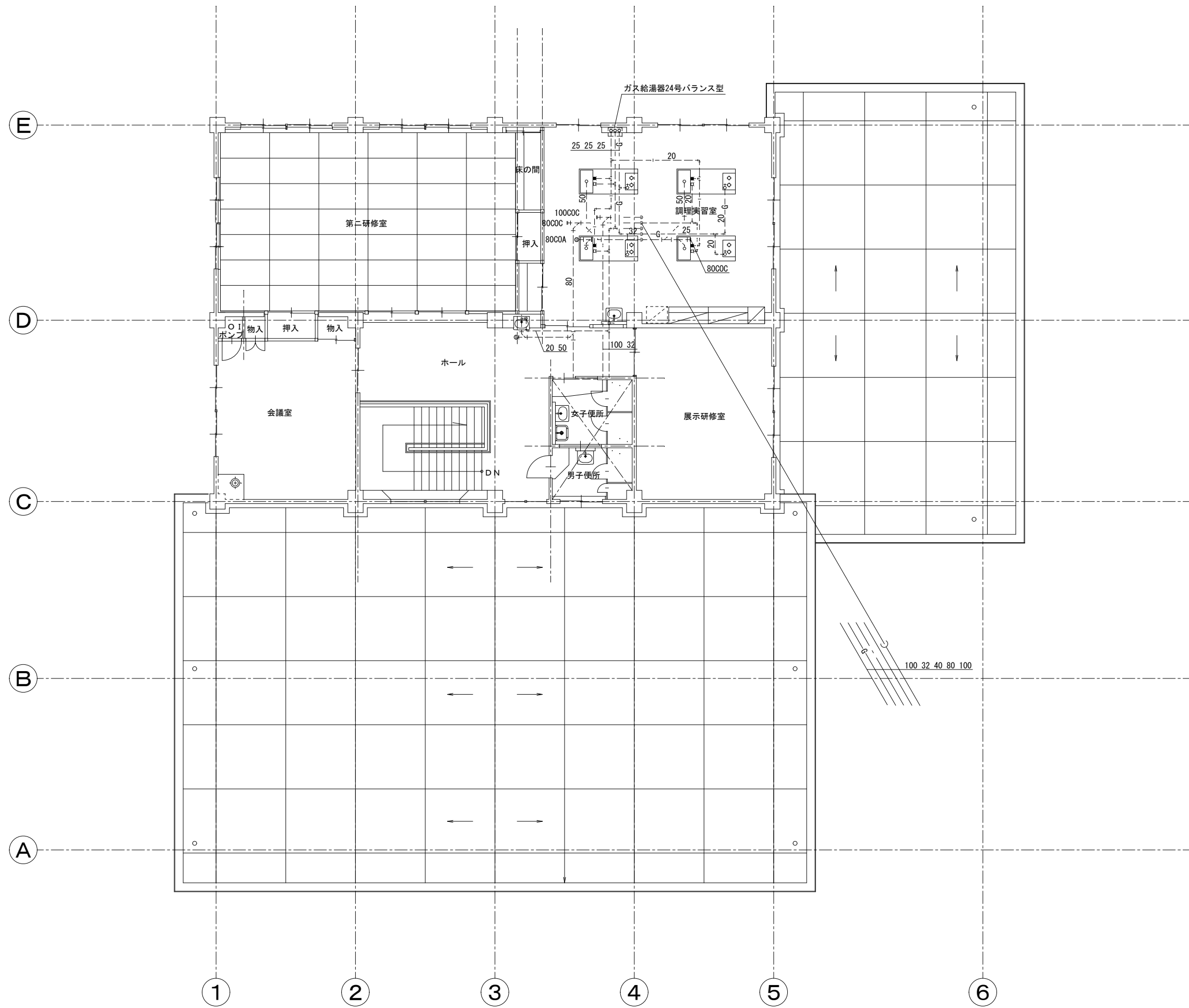
図面  
 検査  
 承認  
 竣工  
 図  
 承認  
 作成

訂正  
 特記

上郷コミュニティセンター  
 改修工事

図面内容  
 衛生設備改修1階平面図  
 縮尺  
 1:100

図面番号  
 M-04  
 区分



HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社  
 管理建築士 1級建築士登録第185805号 野尻里志  
 1級建築士事務所 山形県知事登録(1903)第425号 山形県鶴岡市日和町15-19  
 補償コンサルタント 建設大臣登録 補18第4531号  
 TEL(代表)0235(23)8844/FAX0235(23)8867

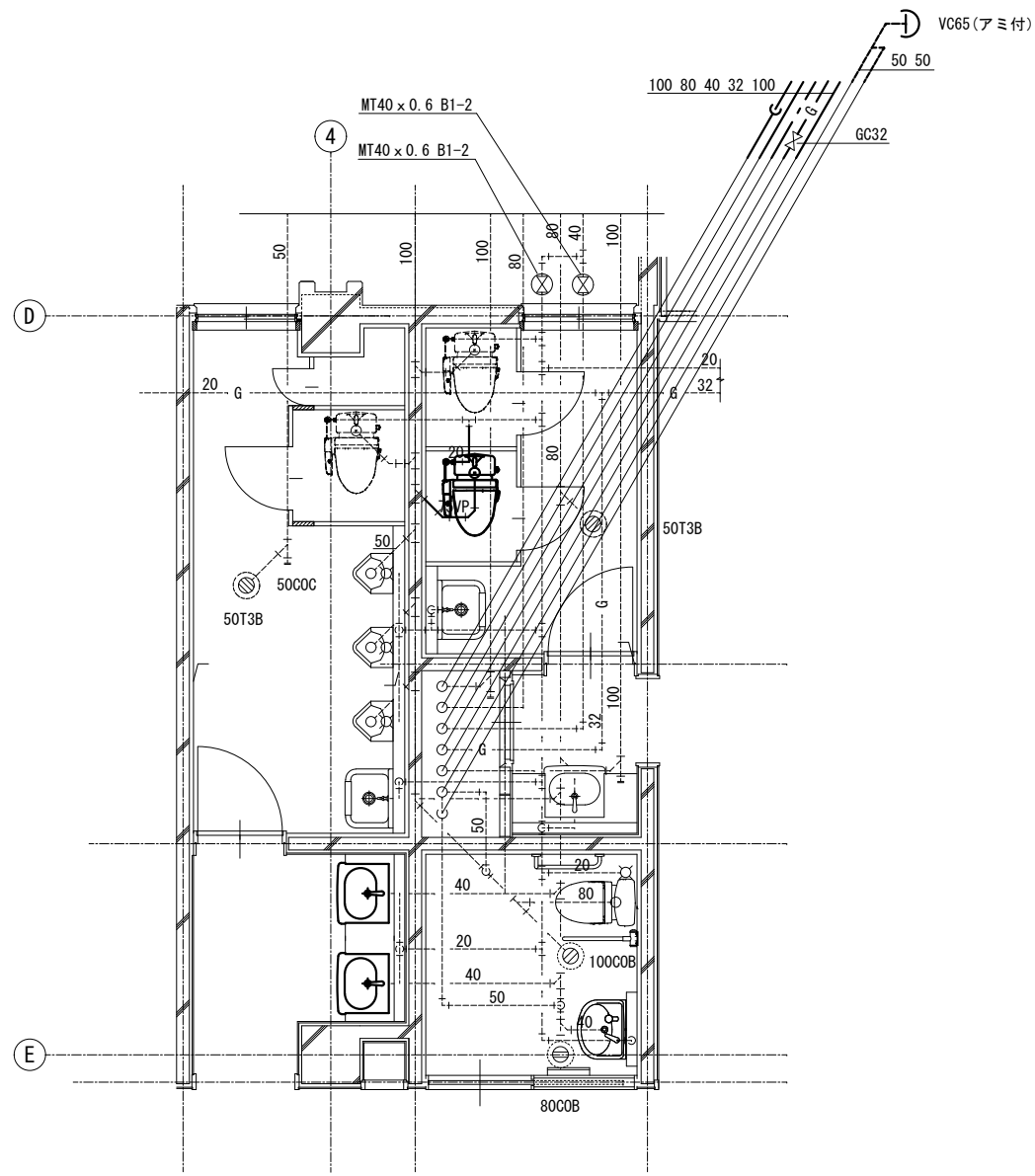
図面	竣工図
製図	作成

訂正	特記

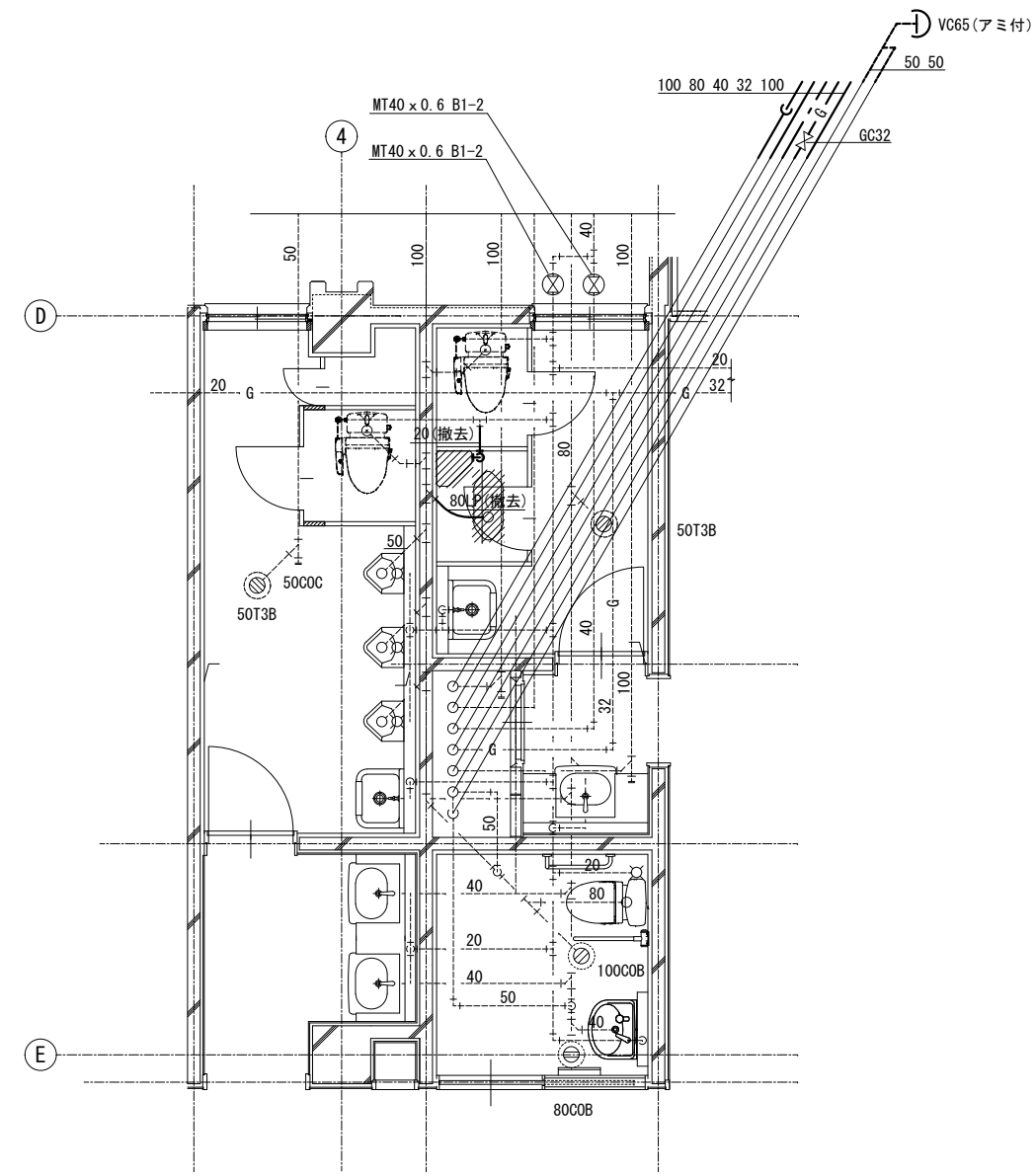
上郷コミュニティセンター  
改修工事

図面内容	衛生設備改修2階平面図
縮尺	1:100

図面番号	M-05
区分	



衛生設備1階便所改修平面図 S=1/50



衛生設備1階便所撤去平面図 S=1/50

器具名	仕様	参考品番 (TOTO)	1FWC	2FWC	1Fロビー
洋風便器	節水型腰掛便器 ロータンク 洗浄温水便器 紙巻器 付属品一式	CS232B SH232BA TCF6623 YH51R	1	1	
洗面器用排水金物	カウンター式洗面器 L331用		2		2
洗面器用給水金物	壁掛形洗面器 L220用			1	

50RCコア抜き 給水管50φ 排水管88φ 各1か所

HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社  
 管理建築士 1級建築士登録第185805号 野尻里志  
 1級建築士事務所 山形県知事登録(1903)第425号 山形県鶴岡市日和田町15-19  
 補償コンサルタント 建設大臣登録 補18第4531号  
 TEL(代表)0235(23)8844/FAX0235(23)8867

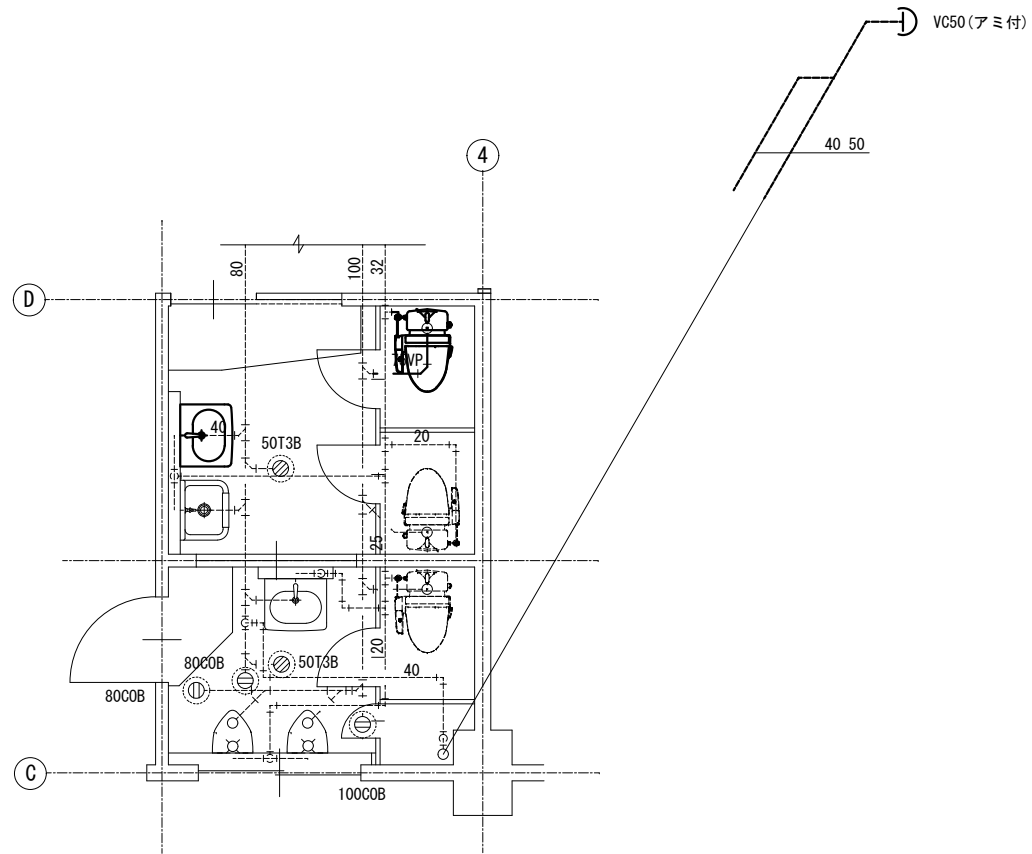
検  
面  
当  
製  
図  
保  
管  
承  
認  
竣  
工  
図  
作  
成

訂  
正  
特  
記

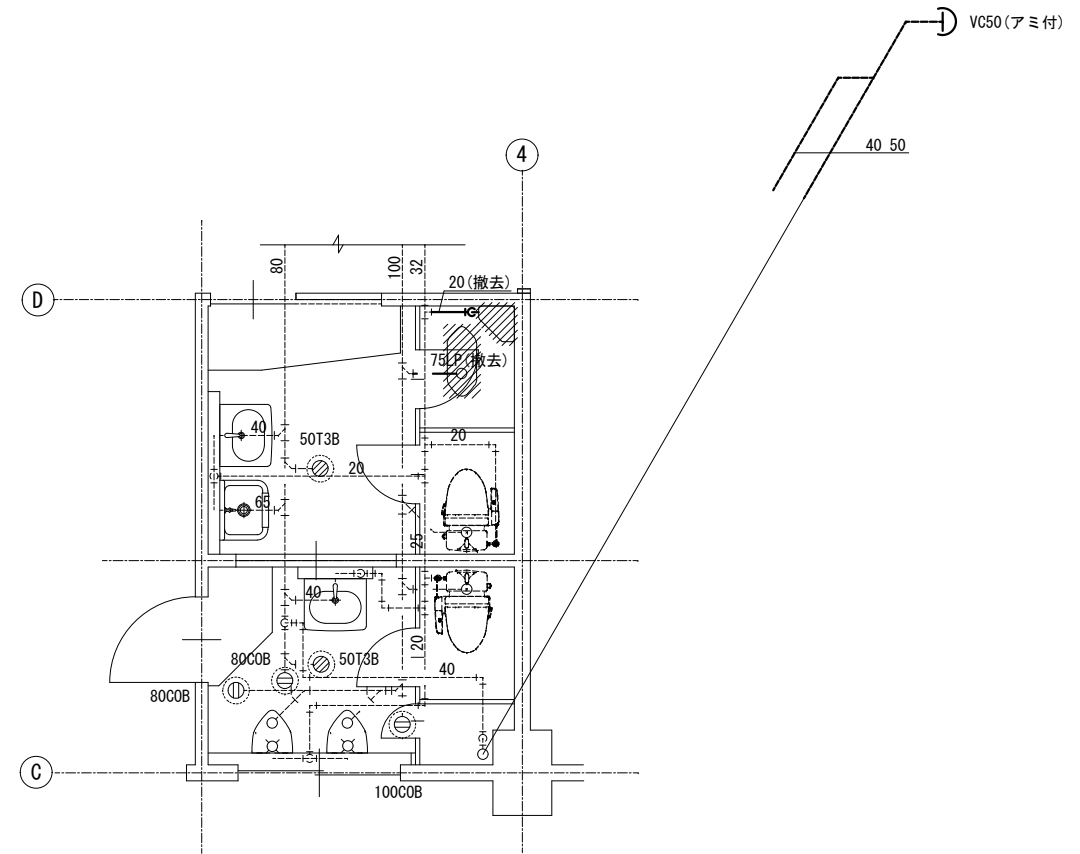
上郷コミュニティセンター  
改修工事

図  
面  
内  
容  
縮  
尺  
衛生設備1階便所改修平面図  
1:50

図  
面  
番  
号  
区  
分  
M-06



衛生設備2階便所改修平面図 S=1/50



衛生設備2階便所撤去平面図 S=1/50

空調機器表

記号	機器名称	機器仕様	電気容量			台数	設置場所	参考品番
			φ	V	Kw			
ACP-1	空冷パッケージエアコン	型式 天井カセット4方向吹出形同時ツイン 耐塩仕様 寒冷地仕様 能力 冷房能力:12.5KW 暖房能力:14.0KW 圧縮機出力2.7KW 屋外機送風機0.07KW×2 屋内機送風機0.05KW×2 付属品 化粧パネル ワイヤードリモコン 分岐管 屋外機架台H=500(溶融亜鉛メッキ) SUS製防雪フード(吹出し側)	3	200	3.13	1	第一研修室	PLZX-HRMP140EFY
ACP-2	空冷パッケージエアコン	型式 天井カセット4方向吹出形同時ツイン 能力 冷房能力:10.0KW 暖房能力:11.2KW 圧縮機出力2.7KW 屋外機送風機0.07KW×2 屋内機送風機0.05KW×2 付属品 化粧パネル ワイヤードリモコン 分岐管	3	200	2.38	1	事務室	(既設品)
ACP-3	空冷パッケージエアコン	型式 天吊形 能力 冷房能力:14.0KW 暖房能力:16.0KW 圧縮機出力3.1KW 屋外機送風機0.07KW×2 屋内機送風機0.16KW 付属品 ワイヤードリモコン 屋外機架台	3	200	5.20	1	第二研修室	(既設品)
ACP-4	空冷パッケージエアコン	型式 天井カセット4方向吹出形 耐塩仕様 寒冷地仕様 能力 冷房能力:12.5KW 暖房能力:14.0KW 圧縮機出力2.7KW 屋外機送風機0.07KW×2 屋内機送風機0.12KW 付属品 化粧パネル ワイヤードリモコン 屋外機架台H=500(溶融亜鉛メッキ) SUS製防雪フード(吹出し側) 屋外機RC基礎(建築)	3	200	3.32	1	調理実習室	PLZ-HRMP140EFY
ACP-5	空冷パッケージエアコン	型式 天井カセット1方向吹出し形 耐塩仕様 寒冷地仕様 能力 冷房能力:7.1KW 暖房能力:8.0KW 圧縮機出力1.5KW 屋外機送風機0.07KW×2 屋内機送風機0.057KW 付属品 ワイヤードリモコン 壁掛形屋外機架台(溶融亜鉛メッキ) SUS製防雪フード(吹出し側)	3	200	2.01	1	2階会議室	PMZ-HRMP80FY
ACP-6	空冷パッケージエアコン	型式 天井カセット4方向吹出形 耐塩仕様 寒冷地仕様 能力 冷房能力:7.1KW 暖房能力:8.0KW 圧縮機出力1.5KW 屋外機送風機0.07KW×2 屋内機送風機0.12KW 付属品 ワイヤレスリモコン 屋外機架台H=500(溶融亜鉛メッキ) SUS製防雪フード(吹出し側)	3	200	1.69	1	談話室	PLZ-HRMP80EFY
ACP-7	空冷パッケージエアコン	型式 天吊形 能力 冷房能力:20.0KW 暖房能力:22.4KW 圧縮機出力4.60KW 屋外機送風機0.150KW×2 屋内機送風機0.160KW 付属品 ワイヤードリモコン 屋外機架台	3	200	7.69	2	大ホール	(既設品)
ACR-1	ルームエアコン	型式 壁掛形 耐塩仕様 寒冷地仕様 能力 冷房能力:5.6KW 暖房能力:6.7KW 付属品 ワイヤレスリモコン 壁掛形屋外機架台(溶融亜鉛メッキ) SUS製防雪フード(吹出し側)	1	200	2.28	1	展示研修室	MSZ-KXV5620S
EPH-1	電気パネルヒーター	型式 壁掛形 ステンレス製粉体塗装仕上 能力 最大発熱量 1,075kcal/h 寸法 680×500×70 付属品 サーモスタット内蔵 ブラケット	1	100/200	1.25	2	1階男女便所	NYS-1250
EPH-2	電気パネルヒーター	型式 壁掛形 ステンレス製粉体塗装仕上 能力 最大発熱量 645kcal/h 寸法 680×500×70 付属品 サーモスタット内蔵 ブラケット	1	100/200	0.75	2	2階男女便所	NYS-750
EPH-3	電気パネルヒーター	型式 壁掛形 ステンレス製粉体塗装仕上 能力 最大発熱量 430kcal/h 寸法 490×500×70 付属品 サーモスタット内蔵 ブラケット	1	100/200	0.5	1	障害者用便所	NXS-500

HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社  
 管理建築士 1級建築士登録第185805号 野尻里志  
 1級建築士事務所 山形県知事登録(1903)第425号 山形県鶴岡市日和町15-1  
 補償コンサルタント 建設大臣登録 補18第4531号  
 TEL(代表)0235(23)8844/FAX0235(23)8867

核  
 図  
 担  
 当  
 製  
 図

保  
 管  
 承  
 認  
 確  
 認  
 作  
 成

訂  
 正

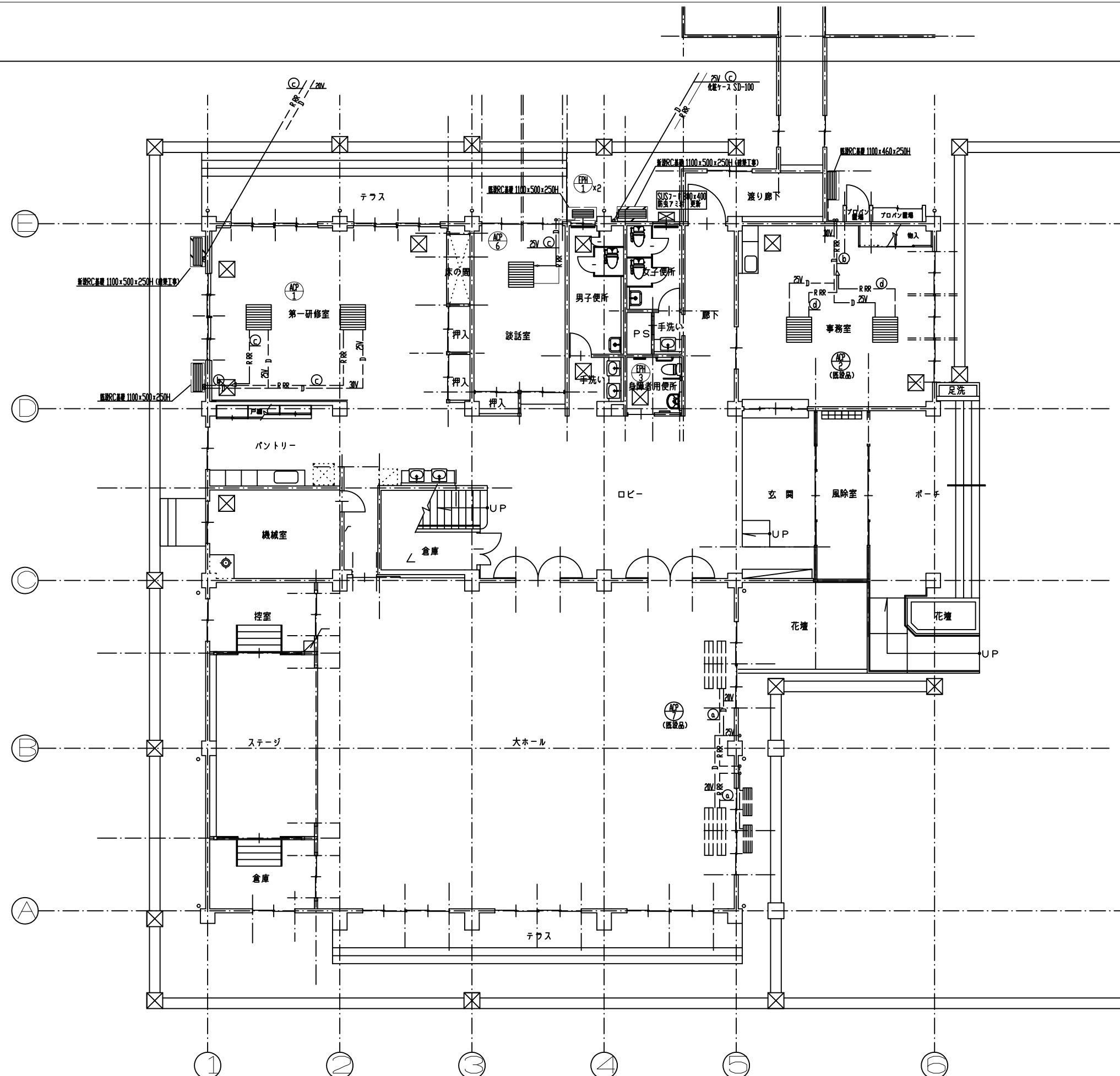
特  
 記

上郷コミュニティセンター  
 改修工事

図  
 面  
 内  
 容  
 縮  
 尺

空調機器表

図  
 面  
 番  
 号  
 M-08  
 区  
 分



冷暖配管リスト

記号	液管	ガス管	備考
a	9.52	25.4	VF20-3C
b	9.52	19.05	"
c	9.52	15.88	"
d	6.34	12.7	"
e	6.34	9.52	"

リモコン配管は既設品再使用する。

HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社  
 管理建築士 1級建築士登録第185805号 野尻里志  
 1級建築士事務所 山形県知事登録(1903)第425号 山形県鶴岡市日和町15-19  
 補償コンサルタント 建設大臣登録 補18第4531号  
 TEL(代表) 0235(23)8844 / FAX 0235(23)8867

検図  
 担当  
 製図

原管  
 承認  
 改訂  
 確認  
 作成

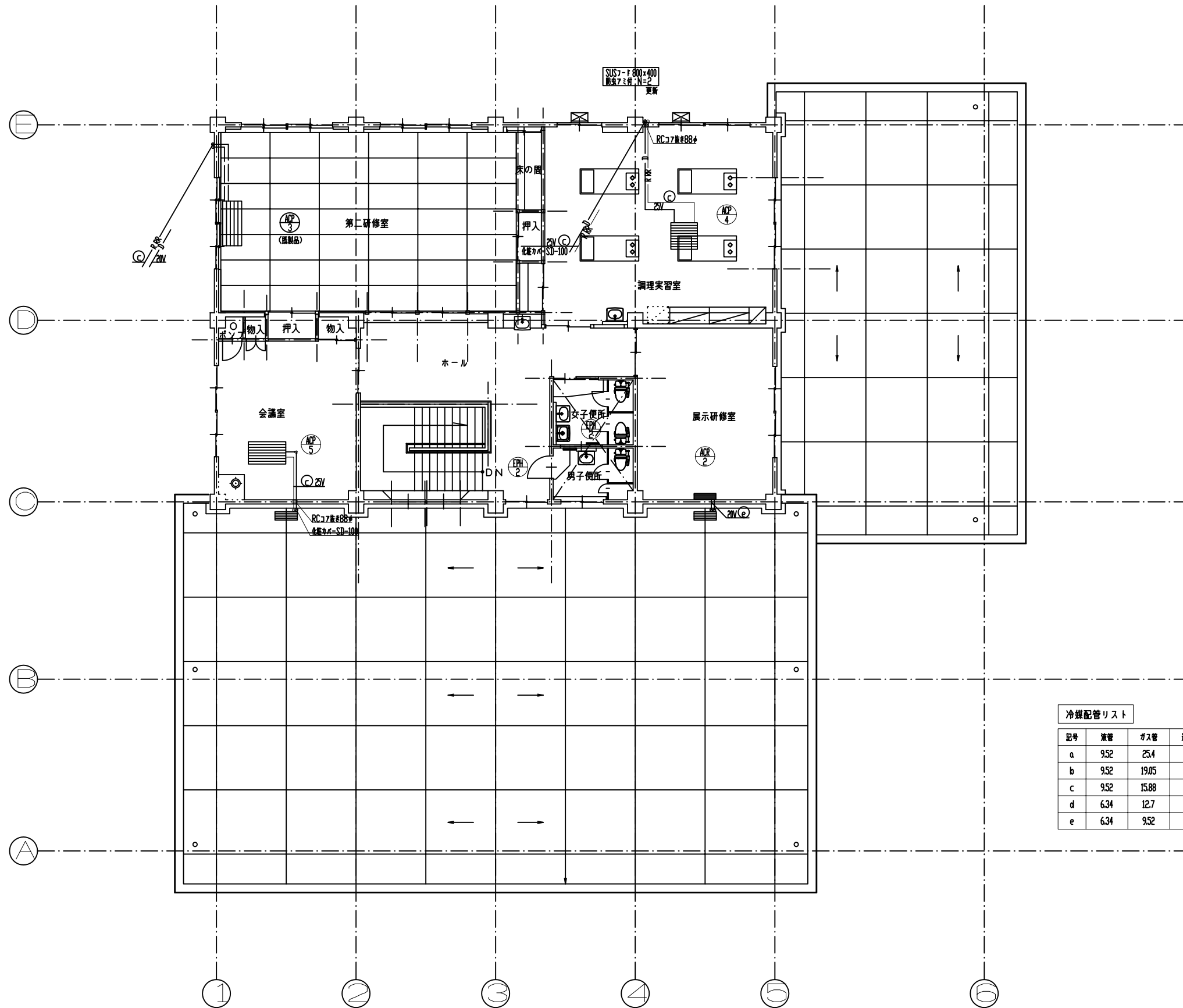
訂正

特記

上郷コミュニティセンター  
 改修工事

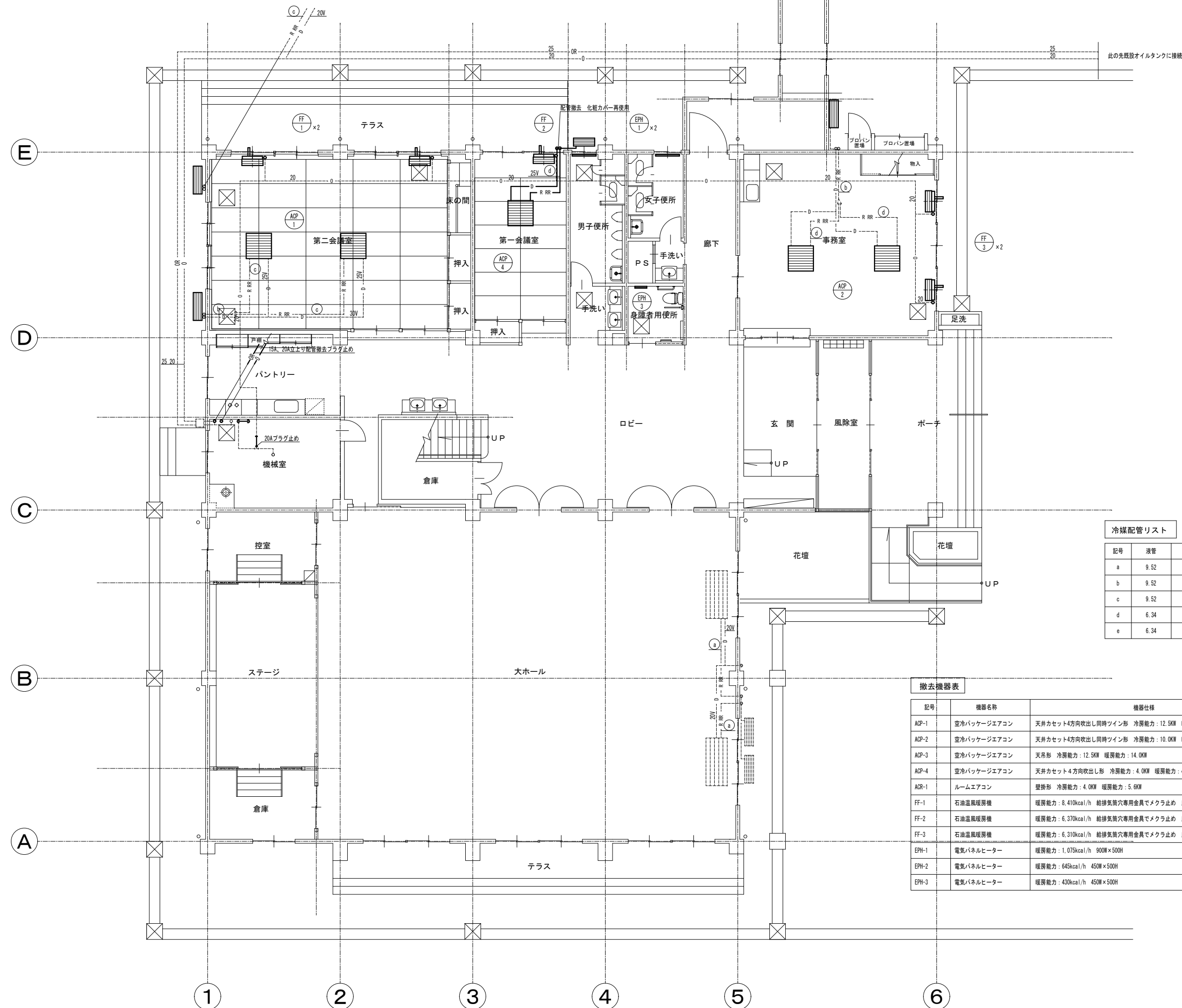
図面内容  
 空調設備改修1階平面図  
 縮尺  
 1:100

図面番号  
 M-09  
 区分



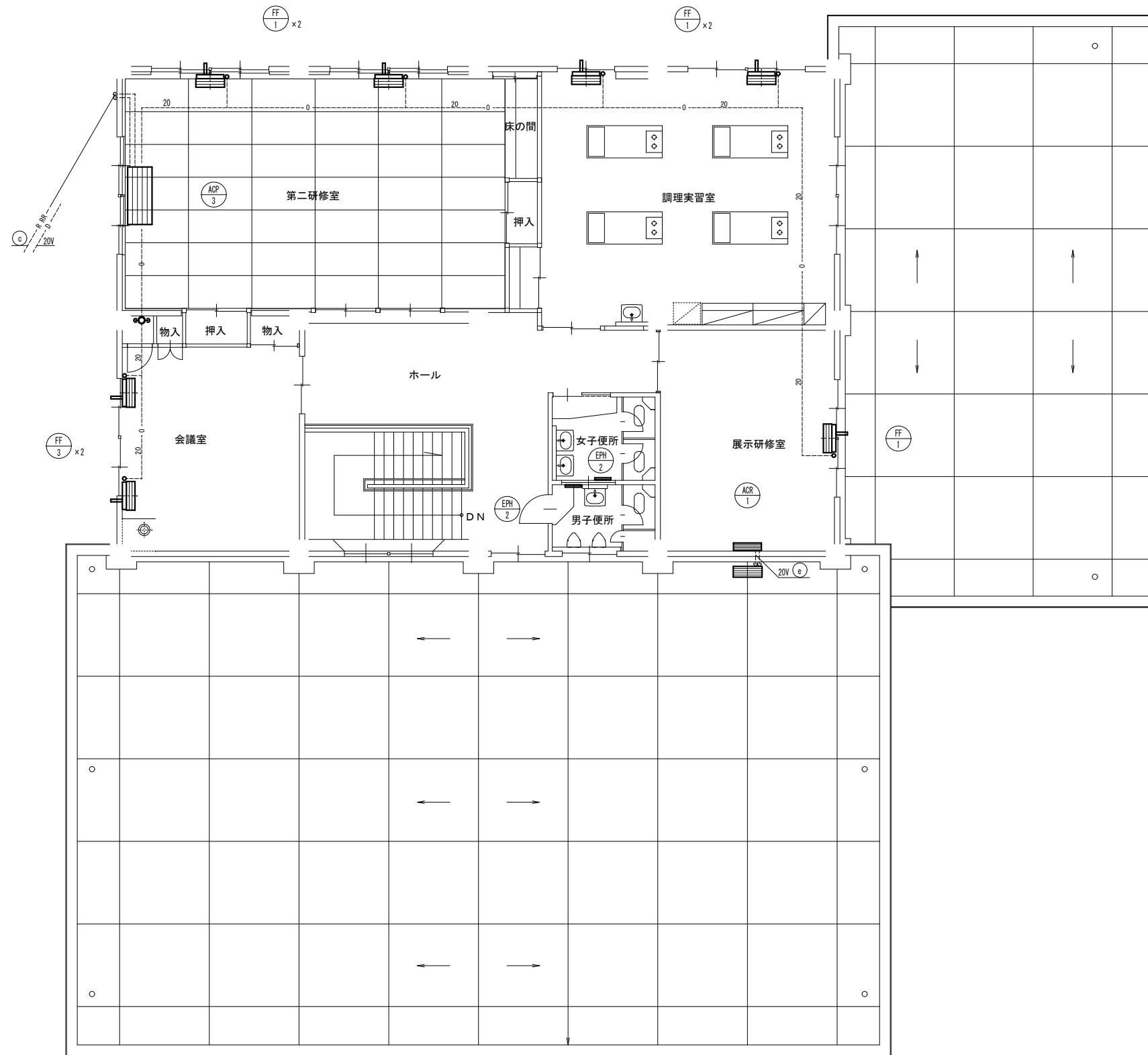
冷媒配管リスト

記号	液管	ガス管	連結線
a	9.52	25.4	
b	9.52	19.05	
c	9.52	15.88	
d	6.34	12.7	
e	6.34	9.52	



記号	液管	ガス管	備考
a	9.52	25.4	
b	9.52	19.05	
c	9.52	15.88	
d	6.34	12.7	
e	6.34	9.52	

記号	機器名称	機器仕様	参考質量 (kg)	数量
ACP-1	空冷パッケージエアコン	天井カセット4方向吹出し同時ツイン形 冷房能力: 12.5kW 暖房能力: 14.0kW	139.0	1
ACP-2	空冷パッケージエアコン	天井カセット4方向吹出し同時ツイン形 冷房能力: 10.0kW 暖房能力: 11.2kW 冷媒ガスR32	118.0	1
ACP-3	空冷パッケージエアコン	天吊形 冷房能力: 12.5kW 暖房能力: 14.0kW 冷媒ガスR32	137.0	1
ACP-4	空冷パッケージエアコン	天井カセット4方向吹出し形 冷房能力: 4.0kW 暖房能力: 4.5kW	63.0	1
AGR-1	ルームエアコン	壁掛形 冷房能力: 4.0kW 暖房能力: 5.0kW	51.5	1
FF-1	石油温風暖房機	暖房能力: 8,410kcal/h 給排気筒穴専用金具でメクラ止め 床オイルコックSUSカバーで化粧する	40.0	7
FF-2	石油温風暖房機	暖房能力: 6,370kcal/h 給排気筒穴専用金具でメクラ止め 床オイルコックSUSカバーで化粧する	40.0	1
FF-3	石油温風暖房機	暖房能力: 6,310kcal/h 給排気筒穴専用金具でメクラ止め 床オイルコックSUSカバーで化粧する	40.0	4
EPH-1	電気パネルヒーター	暖房能力: 1,075kcal/h 900W×500H	11.4	2
EPH-2	電気パネルヒーター	暖房能力: 645kcal/h 450W×500H	6.8	2
EPH-3	電気パネルヒーター	暖房能力: 430kcal/h 450W×500H	6.8	1



冷媒配管リスト			
記号	液管	ガス管	備考
a	9.52	25.4	
b	9.52	19.05	
c	9.52	15.88	
d	6.34	12.7	
e	6.34	9.52	